

## 国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成28年度第9回）議事録

日 時：平成28年12月22日（木）16：00～18：00

場 所：国立研究開発法人国立がん研究センター 特別会議室

出席者：中釜斉理事長、門田守人理事、松本洋一郎理事、児玉安司理事、間野博行理事、  
南砂理事、小野高史監事、増田雅志監事

欠席者：なし

### I. 前回（平成28年度第8回）議事録の確認

- ・平成27年度年齢調整死亡率について、がん対策基本計画が実際にスタートした2007年から10年の結果で評価するべきとの意見があり、2007年から17年の予測値を来年度中に公表することを検討する旨が説明された。
- ・前回議事録について了承。
- ・議事録署名人を間野理事と小野監事に依頼。

### II. 審議事項

- ・なし

### III. 報告事項

#### 1. 厚労省共催「がんゲノム医療フォーラム2016」

資料に沿って報告された。

- ・平成28年12月27日に厚労省、国会がん患者と家族の会とともに、「がんゲノム医療フォーラム2016」を主催。その場で、厚生労働大臣が今後のゲノム医療推進への決意表明を行うことを予定。

#### 2. 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所との包括的な連携・協力の推進に関する協定

資料に沿って報告された。

- ・医薬基盤・健康・栄養研究所との包括的な連携協定を結ぶことにより、共同研究で見いだされた情報を基に治療薬の研究を進めていく中で、特に医薬基盤研が得意とする技術を治療薬の創製に展開し、がん治療に有用な抗体医薬や核酸医薬の可能性の検討を促進することを目指す。

#### 3. 人工知能（AI）を活用した統合的がん医療システム

資料に沿って報告された。

- ・株式会社 Preferred Networks 及び産業技術総合研究所とともに、科学技術振興機

構の戦略的創造研究推進事業における「イノベーション創発に資する人工知能基盤の創出と統合化」研究領域に採択されたので、人工知能技術を活用した統合的ながん医療システムの開発プロジェクトを開始する。

#### 4. 非常勤職員・准職員を対象とした総合職登用試験

資料に沿って報告された。

- ・平成28年7月の執行役員会で検討事項となっていた非常勤職員と准職員の常勤職員への登用について、試験を実施し、若手職員のキャリアパス・離職防止を図る。
- ・次年度以降も、大卒程度の職員を毎年度採用するとともに、非常勤職員と准職員からの登用を実施する。

#### 5. 院内保育所の運用

資料に沿って報告された。

- ・築地キャンパスどんぐり保育園には12月1日時点で32名の園児がおり、1月以降も入園希望があるが、現行の保育面積ではこれ以上の入園ができないことから、平成29年1月～3月までの間、宿舍2階に分園を開設する。
- ・保育園の経営状況や周囲の保育園の保育料を勘案し、築地・柏それぞれにおいて、平成29年度から保育料を月額1万円程度値上げする。

#### 6. 経営改善の取り組み

資料に沿って報告された。

- ・11月29日に経営改善委員会を再開。経営改善の考え方等を議論し、今後の取組として、継続的な合理化・効率化を実施すること、キャッシュ・フローの緊急見直しや財政運営健全化のための仕組みの構築を進めることとなった。

主な意見等

- ・現場の医師の意見も重要。
- ・経営だけを見ていると患者が置き去りになる可能性もあり、患者の支持を得ていくという視点も必要。

#### 7. 平成29年度政府予算案（国立がん研究センター関連分）

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・今後の運営費交付金の動向が不透明な中、長期的な経営健全化方策について質問があった。
- ・どの法人も建替の財源が確保できない。自己収入では限界があるため、寄附を募ることも必要。

8. がん対策推進協議会等  
資料に沿って報告された。

9. 広報実績  
資料に沿って報告された。

10. 11月分月次決算  
資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・ 医業収益の伸びに対する医業費用の伸びや経常費用の伸びなど、具体的な点について、これからの事業計画を作成する上で分析が必要。
- ・ 投資に関する意思決定を行う際には、一般事業者と同様、地域のニーズ、競合機関との関係などの実態を踏まえ、PLとCF双方を中期的におさえていくことが必要。
- ・ 資金ショートの可能性があるのであるようなら、計画の見直しは不可欠。